

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎にスペースを区切っている。全員で活動する時には比較的広いスペースを確保して活動している。 ・グループの人数で、広さを変え、なるべく窮屈にならないようにしている。 ・室内をパーティションで区切ることができるので活動内容や利用者の応じて自由にスペースを作ることができる。 ・グループ活動ではグループごとに仕切を設置したスペースを設けており、全体での活動時には広いスペースを確保している。 ・各グループ事に仕切を設置して各グループそれぞれのスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎にスタッフが配置できている状態である。 ・定められた職員数が配置されている。 ・グループ活動が問題なく行えている。 ・子供の発達段階に合わせてグループを作成し、活動を行うことができている。

	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内はワンフロアで段差がなく玄関にはスロープがある。バリアフリー化の配慮は適切であると感じる。 ・玄関先にスロープがあり、トイレも広く、手すりもあり配慮されていると思う。 ・外にスロープがあったり、トイレに手すりがあったり等、配慮はされていると思う。 ・外にはスロープがあり、トイレには手すりがあるなど配慮がされている。段差や狭い通路なども少ない。 ・入口にスロープと点字ブロックの設置をしている。またトイレにも手すりなどを確保している。ストーマには未対応である。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が担当している利用者の目標設定と振り返りをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け評価表を実施し、業務改善にいかしている。 ・記入してあるところは、みんなで話をしてどのようにしていけばいいかなど話をしている。 ・毎年実施して結果を確認して職員で話し合っている。業務の改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の結果をホームページで公開している。 ・毎年実施し、HPで公表している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価は行っていない。

	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修計画に沿って研修を行い、資質の向上につなげている。 ・研修を行っている。 ・社内研修の他に他教室との合同研修を行うこともある。 ・他事業所との合同研修会など、様々な研修に参加する機会が設けられている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の時にアセスメントを行い、子どもの現状を把握しケース会議で課題を話し合い個別支援計画を作成している。 ・児童発達支援管理責任者が中心に実施している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し詳しいアセスメントツールを使用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループ、男女別のグループ、低学年、高学年のグループ、全体での活動プログラムを職員間で話し合って立案している。 ・スタッフ同士話し合いをし、楽しい活動が出来るように心がけている。 ・日常的に職員同士で話し合いを重ねて活動内容を考案している ・スタッフ同士で話しやすい環境にあるため、相談もしやすく楽しい活動を考えられる。 ・スタッフ同士が話し合いやすい環境にあり、楽しい活動を全体で考えている。 ・職員同士で協議し子供の状況に合わせた活動を行えるようにしている。

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・今までに行ったことがない活動（劇、組体操、ロールプレイなど）を子どもたちの現状に沿って工夫している。 ・なるべくいろんな活動をしたいと考えてはいる。 ・集団や小集団など、様々なグループ編成で活動できるようにしている。季節の行事や、子どもたちの意向を取り入れた活動など様々な体験が出来るような活動を組み立てて支援を行っている。 ・児童の様子を見ながら楽しめる活動を模索していきたい ・児童が楽しめる活動を取り入れるために、児童の様子を見ながら考えている。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇などは、平日出来ないことが出来るように考えている ・平日、休日、長期休暇に応じて、活動内容や支援内容を工夫している。長期休暇には、昼食作りや施設見学など普段取り組めない活動を積極的に取り入れている ・児童が楽しめる活動を取り入れるために、児童の様子を見ながら考えている。 ・休日/長期休暇には平日では取り組みにくい支援を取り入れて、各子供に合わせた課題を設定している

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの現状に応じて個別活動、全体での活動を組み合わせるように工夫して計画を作成している。 ・子どもの状況に応じて、個別・小集団・集団活動を組み合わせて計画を立てている。 ・少人数でのグループ活動と全体活動を組み合わせている。グループ活動では、学年や性別など分け方を変えて、様々な関わりができるようにしている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日朝の打ち合わせでは確認している。また、その都度話している。 ・毎朝必ず打合せを行っている。その日の活動内容や連絡事項、分担等を話している。当日不在だった職員にも情報を共有している ・送迎や活動内容についても打ち合わせで共通理解できている。送迎時間の不安なども相談できて安心できる。 ・毎朝打ち合わせの時間が設けられており、送迎時間や活動内容について確認している。 ・朝の打ち合わせの際にホワイトボードを用いて支援の内容や役割分担を記入しながら確認を行っている。

⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずしている。子どもたちの様子だったり、疑問点や心配な事があれば話せるようになっている ・毎日支援終了後に振り返りに時間を設け、支援の振り返りなどを職員全員で共有している。 ・活動内だけでなく自由時間の様子についても話している。相談もしやすいので改善点やアドバイスもいただきながら支援につなげられる。 ・活動中のみならず、送迎中や来所後の児童の様子についても全体で共有している。より良い支援のための話し合いもしやすい環境にある。 ・支援終了後には職員全員で毎日その日の振り返りを行い、気づいた点などを共有している。
⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当した子供の様子や、保護者とのやり取りがあったりした場合、必ず記入するようにしている。 ・その日の支援記録や利用者の様子とHUGに記録している。 ・HUGで一日の様子を保護者に伝えると同時に、個別支援計画が達成できていたかも記録している。 ・HUGを使用して活動の記録を取っている。一日の様子が保護者に伝わるよう心掛けている。 ・HUGを用いて毎日個別支援計画の達成の有無と理由を記入している。
⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に半年に一度モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせて支援するようにしている。 ・なるべく偏らないようにしている。 ・ガイドラインの基本活動を組み合わせたものになっている。
関係機関や保護者と	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席することが多いが、可能な時は担当スタッフも一緒に参加している。 ・可能な限り担当の子どもの会議には参加させていただいてるため、事業所外での様子も把握しやすい。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・下校時間、行事予定等について学校と情報共有している。また、送迎時間の遅れの連絡も行っている。 ・保護者に、変更点があったりした場合、連絡してもらうようにしているが、こちらからも学校に問い合わせする時もある。 ・行っている。時間割や下校時間についても共有し、送迎時間が遅れそうなときやトラブルがあった際は度々連絡をしている。 ・行事予定や時間割、下校時間について共有しており、トラブルがあった際には速やかに連絡を取っている。 ・学校側と定期的に情報共有を行い、時間割なども各児童から受け取りコピーをさせて貰っている。また送迎時にトラブルなどが発生した場合には即時報告を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在医療的ケアを必要とする子どもは受け入れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートシートを活用し情報を共有している。

の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	5	0	・中学に入学するにあたり他の放課後等デイサービスに移行する時は情報を提供している。
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	2	
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	5	・放課後児童クラブとの交流は行っていないが、地域の施設を利用した際に障害のない子どもと交流することがある。 ・行いたいと思い、機会を作ろうとしたが、時間帯など難しかった。 ・コロナなどの影響もあり特に交流はしていない。 ・他のクラブとの交流はないが、活動を通じて公共施設を利用する際に健常児と交流する場合もある。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	1	・2ヶ月に一度、福島市の放デイ協議会に参加している。 ・放デイ協議会には持ち回りでスタッフが参加している。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	・お迎えにきた保護者に、活動内容や子供の様子を話したり、聞いたりするようにしている。 ・保護者の方がお迎えに来た時にその日の様子などを伝えたり、保護者の方から子どもの様子を聞いたりしている。 ・HUGでも保護者とこどもの状況を共有しているが、お迎え時にも話し、家庭での様子も共通理解できるようにしている。 ・HUGの連絡帳で日々の様子を伝えると同時に、お迎えの際にも伝えるようにしている。

	n	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・以前行ったことがあるが、今年には行ってない。 ・今年度は実施していないが、今後ペアレントトレーニング等の支援を行えるようにしていきたい。
保護者へ	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に丁寧に説明している。 ・分かりやすく伝えている。何か変更点があればその都度説明している。 ・変更点などがあつた際には保護者に直ぐに伝え、かつ運営規定等は常に保護者が閲覧できるように入口に配置している。
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その場で答えられることは答え、分からないところはスタッフで話し合ってから後日改めて話をしている。 ・何か保護者から話があつた場合、スタッフに共有している。 ・保護者から育児の悩みなどを聞いた場合にはスタッフ内で共有を行い各事例に合わせて対応を行っている。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流のために、親子桃狩りや保護者交流会を企画した。 ・今年は、夏に保護者や卒業生と桃狩りを行い、3月には、保護者交流会を行う予定。
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情があつた場合には迅速に対応し、職員間で情報を共有している。 ・その都度、スタッフで話し合い、どうしていくか確認して、保護者などに説明している。

の 説 明 責 任 等	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に会報を発行し、むすびでの活動の様子などを伝えている。長期休暇の時には、予定表を配布している。 ・写真などもたくさんあり、わかりやすいようにしている。 ・毎月「むすび便り」を発行し療育運営システム(HUG)内とHPで発信している。活動内容や行事等については口頭で伝えることもある。 ・むすびだよりを毎月発行し、プライバシーに配慮した上で各保護者と公式サイトに掲示している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の取り扱いには十分注意している。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいように視覚支援、ジェスチャーなどを活用しながら意思疎通を図っている。 ・発語がなく、分かりにくい時は、ジェスチャーを教えたり、なるべく分かるように声かけをしたりしている。 ・発語がない子供や自身の気持ちを伝えられない子供に対して図や表、ジェスチャーなどを用いて自己の気持ちを伝える事ができるように配慮を行っている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	7	
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルを玄関のファイルに綴じていつでも保護者の方が閲覧できるようにしている。また、契約や面談の際に説明していきたい。 ・その都度、研修を行い、周知するようにしている。 ・保護者が自由に閲覧できるように入口に各マニュアルをまとめたファイルを用意し、掲示している。

非常時等の対応	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回、火事、地震の避難訓練を行っている。職員の役割はその都度変えて訓練している。 ・月1の頻度で火事や地震、不審者など様々な場合を想定して訓練を行っている。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年虐待防止研修を受けている。また虐待防止委員会も設置し、チェックリストも活用している。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・やむを得ず身体拘束を行う場合があることについては、保護者に契約時に説明し個別支援計画に記載している。またやむを得ず身体拘束を行った時には記録をつけている。 ・やむを得ない場合の身体拘束について全体で研修を受けるとともに、やむを得ず身体拘束を行った場合には記録に残し、スタッフ間での共有を行っている。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーがある子どもの対応は保護者と確認し職員間で共有している。 ・今の利用者でアレルギー対応している子がいない。 ・食物アレルギーを有する児童についてはスタッフ室に対象の児童のアレルギー内容を掲示している。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの事例があった場合は報告書にまとめて共有し再発防止に努めている。 ・回覧でまわし、スタッフみんなが周知できている。 ・ヒヤリハット事案があった場合には管理者に即時報告後ヒヤリハット事案について事例を作成共
計			240	40	21	